

## インターネットと上手につきあう 仁木小学校の情報モラルの学習について

今、マスコミでは、「スマホ依存」「ネット炎上」「ネットいじめ」などの言葉があふれており、子どもたちの間でもスマホの普及は予想以上に早く進み、スマホ化、低年齢化の結果、トラブルが急増しています。情報モラル教育の多くは、これまでは、中高生をターゲットしてきましたが、小学生にも広げるべきという方向性がみられます。

2月26日仁木小学校において、KDDI(株)から講師を招き、【KDDI ケータイ教室】と題して、1～3年生向けと4～6年生向けに分かれて、授業が行われました。児童らは、とても熱心に集中して話を聞く姿が見られました。

講義はビデオを見ながら進行し、ケータイ、スマホの使い方ルールとマナー、やってはいけない事は何?、なぜトラブルが起こるのか?などを一緒に考えながら学習しました。

### スマホの「ルールやマナー」

- マナーモードで、周りの人に気配りする
- ゲームをするときのルール作り ⇒ 家族と相談、時間設定
- ブログやLINE(ライン)での失敗 ⇒ 正しく伝わるか確認すること、人のことを書くときは、本人に確認すること



### 「ネットトラブル」

- 個人情報盗まれる ⇒ 偽のサイトなどによる「フィッシング詐欺」がある。IDやパスワードを簡単に教えない。
- ネットで知り合う ⇒ 個人情報は知らせない。知らない人に会わない。(誘拐事件防止)
- ネットいじめ ⇒ 仲間づくりや仲間外しはネット上いじめの始まり。人が喜ばないことはネット上に書き込まない。ネットでケンカになりそうになったら、直接話す。

KDDI ケータイ教室：<http://www.kddi.com/family/>

今回の情報モラルの勉強は、商品(ケータイやスマホ)を正しく知り、正しい使い方をするという気づきが、『消費者教育』となります。正しく使うことができれば、高額な請求をされるようなトラブルも防止できます。もしも、困ったことが起きたら、誰に相談するのがよいか、これを知ること大切です。

また、商品(ケータイやスマホ)を通して人とつながっており、周りの人に気配りすることが相手を思いやる『人権教育』となります。こうした取り組みの積み重ねが、安全で安心して暮らせる環境をつくることにつながります。

- 岐阜県県民生活相談センター 058-277-1003
- 輪之内町消費生活相談窓口(住民課) IP:050-5808-9600, 69-3111